ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

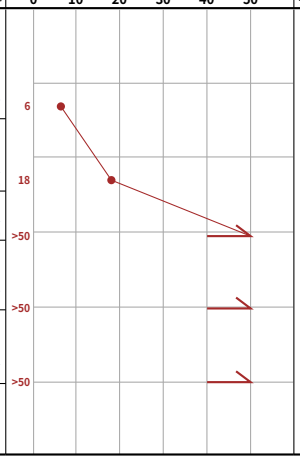
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-5(NO.1+14,R6.6)	調査位置				北　緯	36 ° 59 ’ 46.0000 ”
発 注 機 関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	2009-03-09 ～ 2009-03-09	東　経	139 ° 48 ’ 47.0000 ”
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	1056.70 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 40.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	5.02 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	1054.95	1.75	1.75		表土 (SF)	暗褐			φ60mm以下の角礫主体 礫間は細～中砂で充填される 少量の粘土分も混じる		
2	1053.90	1.05	2.80		粘土質礫 (GC)	暗褐灰			φ80mm以下の風化角礫主体 礫間は粘土質の砂で充填される 2.65～2.80mは粘土を多く混じる		
3	1053.60	0.30	3.10		風化流紋岩 (Ry)	淡褐			風化が進みやや軟質化 コアは岩片状となる		
4					流紋岩 (Ry)	灰～褐灰			岩質はやや硬質である 全体に亀裂が多く亀裂面は褐変し、一部で粘土を薄く挟む 色調はやや緑を帯びた灰色が基調で部分的に褐灰を呈す		
5	1051.68	1.92	5.02								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2／11	3／12	2	7／33	6
1.48					
2.15	6	9	3	18／30	18
2.45					
3.00	50			50／10	>50
3.10					
4.00	50／3			50／3	>50
4.03					
5.00	50／2			50／2	>50
5.02					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						03/09